

環境配慮改修工事

1 アスベスト含有建材の処理工事

施工調査  
分析による7ｽﾍﾞｽﾄ含有建材の調査 ・行う ・行わない  
分析方法 ※JIS A 1481「建材製品中の7ｽﾍﾞｽﾄ含有率測定方法」による。  
  
分析方法結果については監督員に報告すること。  
(箇所あたり3試料)  
材料名 定性分析 定量分析  
・(箇所数：) ・(箇所数：)  
・(箇所数：) ・(箇所数：)  
・(箇所数：) ・(箇所数：)  
・(箇所数：) ・(箇所数：)  
※採取箇所については、図示による。  
  
7ｽﾍﾞｽﾄ粉じん濃度測定 ・行う ・行わない  
測定室( )  
[屋内改修用]  
適用 測定時期 測定名称 測定場所 測定点(各施工箇所ごと) 備考  
・ 処理作業前 測定1 処理作業室内 各2点又は3点 (注) 1  
・ 測定2 調査対象室外部の付近 計2点 大気  
・ 処理作業中 測定3 処理作業室内 各2点又は3点 (注) 1  
・ 測定4 負圧・粉塵装置の出口吹出し風速1m/sec 以下 ー  
・ 測定5 処理作業室外 4方向各1点(敷地境界) ー  
・ 処理作業後(シート養生中) 測定6 処理作業室内 計2点 ー  
・ 処理作業後シート撤去後1週間以降 測定7 処理作業室内 各2点又は3点 (注) 1  
・ 測定8 調査対象室外部の付近 計2点 大気  
注1 各施工箇所ごとの室内積が50㎡以下までは2点、300㎡以下までは3点とする。300㎡を超えるものは、監督員と協議する。  
[屋外改修用・解体工事例]  
適用 測定時期 測定名称 測定場所 測定点(各施工箇所ごと) 備考  
・ 作業前 測定1 処理作業室外 4方向各1点(敷地境界) ー  
・ 作業中 測定2 処理作業室外 4方向各1点(敷地境界) ー  
・ 処理作業後 測定3 処理作業室外 4方向各1点(敷地境界) ー  
  
7ｽﾍﾞｽﾄ粉塵濃度測定方法  
測定3 測定1, 2, 4, 6, 7, 8 測定5  
計数機器 位相差顕微鏡 25mm 47mm  
マグネシウム直徑 17μ/min 54μ/min 101μ/min  
試料の吸引流量 5min 120min 240min  
試料の吸引時間 7セプトリ7セプン法又はシュウ酸ジメチル法  
試験条件 総7ｽﾍﾞｽﾄ繊維数200本又は視野数50視野  
計数7ｽﾍﾞｽﾄ 直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3：1以上  
定量限界 50 f / % 0.5 f / % 0.3 f / %  
  
7ｽﾍﾞｽﾄ含有建材の処理  
7ｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去 (9.1.3)  
除去対象範囲 ※図示  
除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(b)1による。  
  
除去した7ｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材等飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化等厚さ(mm) 処理範囲(※図示(約 m2))  
処分方法 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(熔融、無害化処理)  
  
・7ｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の除去 (9.1.4)  
除去対象範囲 ※図示  
作業場の隔離 ・行う  
処分方法 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(熔融、無害化処理)  
  
・7ｽﾍﾞｽﾄ含有成形板の除去 (9.1.5)  
除去対象範囲 ※図示  
処分方法 セットボード ※埋立処分(管理型最終処分場)  
セットボード以外 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(熔融、無害化処理)

2 断熱アスファルト防水改修工事

改修特記仕様書3章による (9.2.1～3)

3 外断熱改修工事

断熱材 (9.3.2～4)  
種類 厚さ(mm)  
・ビーズ法® リスレンフォーム保温材  
・押出法® リスレンフォーム保温材(スランナシ)  
・保温板(2種b)  
・保温板(3種b)  
・A種硬質ウレタンフォーム保温材  
・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)  
・ロックウール  
・グラスウール  
施工箇所・図示  
熱伝導係数・透湿抵抗値 ※規制対象外  
外装材  
種類 防火性能 備考  
既存外壁の措置  
既存外壁仕上り材の撤去 ・あり ・なし  
下地の清掃 ・行う ・行わない  
欠損部の改修工法 ・改修標準仕様書4.1.4による  
工法  
通気層の有無 ・あり( mm) ・なし  
断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による  
外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による  
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法  
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法)  
・適用しない

4 ガラス改修工事

※5-18による (9.4.2)

5 断熱・防露改修工事

断熱材の種類・透湿抵抗値・放熱量 ※規制対象外  
・断熱材打込み工法  
・ビーズ法® リスレンフォーム保温材 A種  
※押出法® リスレンフォーム保温材(スランナシ)  
・硬質ウレタンフォーム保温材 ※A種  
・フェノールフォーム保温材 A種(3種2号を除く)  
・断熱材現場発泡工法 (9.5.3)  
断熱材の種類 ※A種1 ・B種1  
厚さ(mm) ・25 ・30  
施工箇所 ※図示  
・現場発泡断熱材(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による  
植栽基盤及び材料 (9.6.2)  
・屋上緑化軽量システム  
芝及び地被類の樹根並びに種類等 ※図示  
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチ材等 ※図示  
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による  
かん水装置 ・設置する(種類・ ) ・設置しない  
既存保護管の撤去 ・行う ・行わない  
工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)  
・適用しない  
適用範囲：歩道 (9.7.2、3、5～9)  
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示  
路床  
路床の材料  
種別 材料 厚さ(mm)  
・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・図示  
・遮断層 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75 μmふるい通過量10%以下) ・図示  
・凍上抑制層 ・再生カラッシュン® ・クラッシュサン  
切込み砂利  
・川砂、海砂又は良質な山砂 (75 μmふるい通過量10%以下) ・図示  
・フィルタ層 ・砂 ・図示  
路床安定処理  
※添加材料による安定処理  
種類 ・普通® グラウトセメント ・フライアッシュセメント  
・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号)  
添加量 kg/m3(目標CBR ・5以上 )  
・ジオテキスタイル  
単位面積質量 ・60g/㎡以上  
厚さ(mm) ・0.5～1.0  
引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上  
透水係数 ・1.5×10cm/sec<sup>-1</sup>以上  
試験  
砂の粒度試験 ・行う ・行わない  
路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない  
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない  
路盤  
路盤の構成及び厚さ ・図示  
路盤材料 ※再生材のクラッシュン® ・クラッシュン鉄鋼スラグ®  
試験  
路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない  
舗装  
材料 厚さ(mm)  
ストリートアスファルト ・図示  
試験  
透水性7ｽﾍﾞｽﾄ混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない  
舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの  
路面表示用塗料 (JIS K 5665(路面表示用塗料)による)  
種類 施工 適用 色 幅(mm) 塗布厚さ(mm) 揮発性有機溶剤の含有率  
・1種 常温 液状 ※白 ・150 ※1.0 塗料総質量に対して5%以下  
・2種 加熱 ・100  
※3種 1号 溶融 粉体状

6 屋上緑化改修工事

7 透水性アスファルト舗装改修工事

1 フリーアクセスフロア [20.2.2]  
構造 仕上り高(mm) 寸法(mm) 許容水平力 耐荷重性能 表面仕上げ材  
・パネル構造 ・100 ・500×500 ・0.6G(地下及び1階) ・3,000 N ・滑動防止床材  
・溝構造 ・600×600 ・1.0G(2階以上) ・5,000 N ・タイル・ベッコ  
・ 1.0G(すべて) ・  
表面仕上材は仕上げ表、品質・性能は標準仕様書19章による。  
構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製  
スラブ及びボーム・製造所の仕様による ・図示  
配線用取り出しパネル  
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20～30%  
配線用取り出し開口 ・パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 ・図示  
(性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

2 可動間仕切り

[20.2.3]  
構造形式 構成基材の種類 断面厚さ 表面材 耐火性能 遮音性能  
・スクッド式(内蔵) スクッド パネル 材質 厚さ(mm) パネル表面仕上げ 遮音性 防火性能  
・スクッド式(露出) ・鋼板 ・0.6 ・アルミ樹脂焼付又はアルミ樹脂焼付 ・0・12 ・不燃  
・スクッドパネル式 ・0.8 ・焼付塗装 ・20・28  
・パネル式 ・焼付塗装  
パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示) ・なし  
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による  
移動間仕切り [20.2.4]  
走行方向 操作方法 圧接装置の操作方法 厚さ(mm) 表面材の材質 仕上げ 遮音性  
・平行方向移動式 ・手動式 ・フック式 ・鋼板 ・焼付塗装 ・36未満  
・二方向移動式 ・電動式 ・ハンドル回転式 ・壁紙張り ・36以上  
・部分電動式  
パネル表面仕上げの壁紙張りの品質 標準仕様書19章による  
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする  
パネルの取り付け下地の補強  
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する  
・図示  
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による  
トイレブース [20.2.5]  
表面材の材質 脚部 ドアエッジ  
・アルミ樹脂系化粧板 ・幅木 ・アルミニウム製 ・標準 ・アルミニウム製  
・ポリエチレン樹脂系化粧板 ・支柱 ・ステンレス製 ・R ・ステンレス製  
・ なし ・表面材と同材  
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による  
階段滑り止め [20.2.6]  
材種 幅(mm) 取付け工法 端部フラットエンド  
・ステンレス製(SUS304) ・約35 ※接着工法 ・有り(・ポリエチレン製 ・ステンレス製)  
・ビニルタイル入り ・埋込み工法 ・無し  
黒板 ホワイトボード [20.2.8]  
種類 寸法(mm) 色彩 形式  
・黒板 ※焼付け ※緑 ・黒 ・平面 ・曲面 ・スクリーン付き引き分け  
・WB ・ほうろう ・白 ・平面 ・曲面 ・スクリーン付き引き分け  
表示 [20.2.10]  
区分 材質 寸法(mm) 厚さ(mm) 取付高さ(mm) 備考  
・衝突防止表示 (・両面・片面) ・ステンレス製 ・約30φ ・※市販品 ・※図示  
・室名札 ・アルミ板 ※図示 ※5 ※図示  
・ビュッゲラフ ・ガラス  
・とびら番号  
・庁舎案内板 ・アルミ板 ※図示 ※5 ※図示  
・各階案内板  
案内用図記号はJIS 28210による  
ブラインド [20.2.12]  
形式 操作 種類 スラットの材質 スラット幅(mm) ボックス・レールの材質 寸法、取付箇所  
・横形 ・電動 ※アルミニウム合金製 ※25 ※鋼製 ※図示  
・縦形 ・手動 ※ダイヤ式 ・コード式 ・操作棒式  
・縦形 ・電動 ※1本操作コード式 ・アルミスラット ・80 ・アルミニウム合金製 ※図示  
・手動 ※2本操作コード式 ・クロススラット ・100  
アルミスラット 焼付け塗装仕上げ  
クロススラット 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工  
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合  
操作方法 ・フルコード式 ・チェーン式 ・電動式 [20.2.13]  
生地材種 ・ポリエステル  
透光性能 ・1級 ・2級 ・3級  
巻取りタイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による  
カーテン [20.2.14]  
カーテン ひだの種類 形式 開閉操作 取付箇所 備考  
・フランスひだ ・シングル ・電動 ※図示  
・箱ひだ・つまみひだ ・ダブル ・ひも引き  
・ブレードひだ・片ひだ ・手引き  
・ (暗幕)  
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合  
カーテンレール (20.2.14)  
材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製  
形式 ・片引き ・引分け(暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)  
形状 ・C型 ・D型 ※角形  
11 ブラインドボックス及びカーテンボックス  
溝幅x深さ(mm) ・90x150 ・120x80 ・120x150 ・150x80 ・図示  
材質 ・集成材(仕上：)  
・アルミニウム製 表面処理(・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2)  
(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンド)

12 天井点検口

[20.2.14]<